

令和4年度授業改善推進プラン

清瀬市立芝山小学校 第1学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	基礎的な言語事項の習得 ・ひらがなを正しく読み書きする力 ・集中して話を聞き、理解する力	・繰り返し視写をすることにより、正しい表記の仕方を身に付けさせる。 ・指示を明確に、短く分かりやすい言葉で伝える。	・平仮名や片仮名の表記の仕方が身に付きつつある。字の形を整えて書くことができる児童が増えたが、個人差があり、個別に指導していく。 ・助詞や撥音の表記がまだ難しい児童もいる。 ・指示を一度で聞くことができる児童が増えた。
算数	基礎的な計算の確実な定着 数学的な考え方の育成 ・具体物を用いた活動を通して問題の意味を理解する力の育成	・毎時間計算カードを使った練習をすることにより、たし算・ひき算を確実に定着させる。 ・自分の考えを図や絵で表したり、説明させたりすることで数学的な考え方を身に付けさせる。	・10の構成を理解し、計算練習を繰り返したことで、たし算、ひき算が定着した。 ・自分の考えを図で表したり、説明したりすることに個人差があり、継続して指導していく。
生活	・自然の様子に関心を持ち、大切にできる態度の育成 ・友達や家族、周囲の人々とかかわる力の育成	・植物を育てる活動や四季を通して生きものの様子を観察する活動などを通して生きものや季節の変化に気付かせる。	・多くの児童が自然に興味を持ち、積極的に動植物の様子の変化に気付くことができるようになった。 ・五感を使って季節の様子に進んで触れることができた。
音楽	・曲想を感じ取って表現を工夫し、思いに合った表現をする力の育成	・授業の中で、どのように歌ったり演奏したりしたいか意識させる。 ・ミニキーボードや様々なリズム打楽器に親しませ、拍の感覚を養うとともに、少しずつ練習を積み重ねることで、基礎的な技能を身に付けさせる。	・授業の中でどの曲のどの部分を歌ったり、楽しそうに演奏したりする様子があった。 ・音楽会を通して、心を合わせて歌う楽しさや、指揮をよく見て演奏する経験をすることができた。 ・ミニキーボードの習得には、個人差があり、個別に指導していく。
図画工作	・基本的な道具の使い方を身に付け、正しく扱う力の育成	・パスや絵の具を使って描いたり、はさみやのり等の道具や材料を積極的に使わせる。 ・「大事に扱う」「正しく使う」等の基礎的な感覚を養うと共に、活動の後「こぼした水を雑巾でふく」等の生活に密着した行動も進んで行わせる。	・のりやはさみといった道具の基本的な使い方が身に付きつつある。 ・細かい作業には個人差があり、個別に指導していく。 ・後片付け等、活動の最後まで自分で行動できる児童が増えた。
体育	・今後の運動の基礎となる基本的な運動する力の育成 ・きまりを守り、友達と仲良く運動する態度の育成	・活動の中に多様な動きをたくさん取り入れることで、体を動かす楽しさを感じながら技能を向上させる。 ・ルールや約束を分かりやすく提示し、友達と一緒に運動する楽しさを味わわせる。	・楽しんで体を動かし、積極的に運動できる児童が多く、個々の技能の向上が見られた。 ・運動技能の習得には個人差があり、個別に指導していく。 ・ルールや約束を守って運動できる児童が増えた。
道徳	・自分のことだけでなく、相手のことも考えられる態度の育成	・友達の発言をしっかり聞いて受け止めたり、それに対する自分の考えをもたせたりする時間を十分に確保し、多様な意見があることを理解させる。	・自分とは違う意見の友達がいることを知り、相手の話を最後まで聞くことができるようになってきた。 ・相手の気持ちを考える機会を積極的にもったことで、多様な考えを受け止めようとする児童が増えた。